

令和6年度

刈谷市組織重点目標（実績・成果）

目 次

企画財政部	4
総 務 部	6
生活安全部	8
市民活動部	10
福祉健康部	12
次世代育成部	15
産業環境部	18
建 設 部	20
都市政策部	22
都市公園部	25
水 資 源 部	27
教 育 部	29

令和6年度組織重点目標（実績・成果）

企画財政部 令和6年度組織重点目標（実績・成果）

(1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

(6) 創造性豊かで、柔軟な発想と行動ができる職員を育てる市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
魅力づくりと魅力発信を推進します。	①市公式のスマホ向けアプリ及び公式SNS等を活用し、さまざまな情報を発信すると共に刈谷市をPRします。	広報広聴課	- 公式アプリ総ダウンロード数 31,295件 - 公式SNS等のフォロワー数 175,634人 - 公式YouTubeチャンネル再生回数 138,137回	- LINEやあいかりを活用し、刈谷市内外を問わず多くの人に対し、積極的に情報発信をすることができた。 - SNSを活用し、フォロワーへ本市の魅力を発信した。
	②庁内副業制度を活用し、定住促進冊子「my K A R I Y A」の更新等を行います。	広報広聴課	効率的な働き方の推進及び見やすくわかりやすい成果品の作成	市の魅力が伝わり、親しみやすく読みやすい冊子が作成できた。
	③各種イベントを通じてにぎわいの創出を図ります。	企画政策課	- 既存イベントの棚卸しによる効果の検証とそれを踏まえたイベントの実施 「刈谷満喫ナゾめぐり」参加者 約13,000人 - 市制施行75周年に向けた機運の醸成 音楽フェス実行委員会の設置 ロゴ及びキャッチフレーズの決定	- イベントの情報を横展開することで、連携したイベントが開催された。また、市制施行75周年プレイベントを開催し、参加者が市内を周遊することで魅力を発信した。 - 市制施行75周年音楽フェス実行委員会を2回開催し、イベント名称や会場レイアウト等を検討した。 - キャッチフレーズは初の市民公募で73作品、ロゴマークは初の小中学生公募で990作品の中から決定し、イルミネーション点灯式にて表彰した。

(2) 次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
健全財政を維持します。	①庁内副業制度を活用し、ふるさと納税の返礼品を充実させることで、寄付金受入額の増加を図ります。	企画政策課	- 魅力的な返礼品の開拓 ドライビングシミュレータ トマト入り無水カレーパン メープルフィナンシェ等 - ふるさと納税受入額 前年度受入額の35%増	地元農産物と企業をマッチングすることで魅力的な返礼品を開発するとともに、ふるさと納税ができるサイトを増やすことで、ふるさと納税の受入額を増加させることができた。
	②適正な予算編成・予算執行を行います。	財務課	補正予算及び当初予算編成を実施 一般会計補正予算編成回数 8回	国県補助金・交付金、基金、市債などを財源として、補正予算による適正な対応及び当初予算編成の実施により、行政サービスの質の維持及び必要な財源を確保することができた。
	③使用料・手数料の見直しを行います。	財務課	使用料・手数料検討部会の設置及び開催 開催回数 4回	使用料等算出基準に基づき、施設の維持管理経費と最大収入額の比較等を行い、住民負担の公平確保の観点と受益者負担の原則により使用料等の改定を行った。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
健全財政を維持します。	④ 公共施設維持保全計画に基づく工事の優先順位を精査し、コスト削減や費用の平準化を図ります。	施設保全課	・劣化度状況等の調査 62施設 ・構造体耐久性の調査 16棟 ・工事の優先順位の精査及び短期計画の策定	・劣化状況等を的確に把握し、適切に計画に反映することにより、長寿命化を図ることができた。
	⑤ 公共施設の照明機器のLED化を促進することにより、環境負荷及び維持管理経費の軽減を図ります。	施設保全課	・照明機器のLED化の推進 33施設	・公共施設の照明機器のLED化を促進することで、環境負荷及び維持管理経費の軽減に寄与することができた。

(3) 市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
将来を見据えた施策を推進します。	① 民間企業等との共創によるスマートシティの取組を推進します。	企画政策課	・実証実験の実施 11件	・課題解決型、フィールド提供型、国や県の制度を活用したものなど、多くの民間企業等と共創し、想定以上の件数の実証実験を行った。
	② 環境都市アクションプランの取組の一環として、公共施設への太陽光発電設備の導入に向けた調査を実施します。	施設保全課	・公共施設の屋根等への太陽光発電設備の導入調査の実施	・太陽光発電設備の導入に向けた調査を実施し、対象施設を選定することができた。
	③ 高齢者など、デジタルの活用になじめない方に対する支援を推進します。	情報政策課	・市民館等にて出張スマホ教室開催 36回 308人	・デジタルデバインド（情報格差）の解消に寄与することができた。

(5) 最少コストで最大サービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
効率的な行政運営を推進します。	① 第8次総合計画の進捗管理として行政評価を実施します。	企画政策課	・市民意識調査の実施 ・行政評価委員会の開催 2回	・市民意識調査の集計結果を基に各指標の状況を把握し、行政評価委員会で協議することで適切に評価することができた。
	② 庁内副業制度を活用し、自庁舎内でのシステム構築を行います。	情報政策課	・実施事業数 1事業	・情報システム標準化対象外事務等の事務見直し支援として、新事務フローを検討したたき台を作成した。

総務部 令和6年度組織重点目標（実績・成果）

（1）市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
災害、犯罪等から市民の安全を確保します。	①火災や地震発生時に来庁者や職員の安全を確保するための消防等訓練を実施します。	総務文書課	・避難訓練の実施 ・救急救命講習の実施 2回 32人	・想定した出火場所付近の消防設備等を作動させるとともに、屋内消火栓を操作し、実践的な避難訓練を実施した。また、消防署員による心肺蘇生の方法などの救急救命講習を実施した。
	②暴漢等の脅威から来庁者や職員の安全を確保するための防犯講習を実施します。	総務文書課	・防犯講習の実施 1回 83人	・現役警察官を講師に招き、警杖等の防犯器具を使用し、実践的な講習を実施した。
市民への情報提供等により、行政運営の透明性の確保に努めます。	①税制改正等の情報を適切な時期に提供します。	税務課	・情報提供回数 52回 ホームページ 25回 市民だより 14回 LINE 3回 あいかり 5回 Yahoo!くらし 5回	・ホームページ及び市民だより等を積極的に活用することにより、必要な情報を適切かつ分かりやすい形で、市民に提供することができた。
	②市税納付方法（口座振替、コンビニ収納、電子決済アプリ、地方税共通納税システム）やオンライン納税相談等の情報提供を実施します。	納税課	・情報提供回数 62回 ホームページ 2回 市民だより 23回 キャッチ地域情報 10回 あいかり 10回 LINE 10回 Yahoo!くらし 7回	・ホームページ上のQ&Aを充実し、利用者にとってわかりやすい情報提供に努めた。 ・納期毎のリマインドを通知したり、口座振替、e L-Q Rを活用した納付方法に関する記事を掲載して納期内納付を促し、収納率向上に努めた。
	③第三者により入札、契約制度の審議を行い、公平性、透明性を確保します。	契約検査課	・入札監視委員会 開催数 3回 ・総合評価審査委員会 開催数 1回	・第三者が参加する入札監視委員会及び総合評価審査委員会を開催し、入札、契約制度の公平性、透明性の向上に努めることができた。 ・総合評価審査委員会において、総合評価落札方式における対象工事の選定基準額の見直しを行った。

（2）次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
経費の削減に努め、公平な市税の賦課徴収を行います。	①口座振替、電子決済アプリに加え、地方税共通納税システムの勧奨や、電話、文書による納付催告、自宅訪問などを行い、収納率の向上を図ります。	納税課	・現年度課税分収納率 99.4% ・滞納繰越分収納率 32.2%	・電話、文書による納付催告、自宅訪問に加え、不動産売却や債権差押など滞納処分により、滞納の早期解消に努めた。 ・物価高騰が続く状況の中で、納税者の生活に配慮しながら、適切な滞納整理に努めた。

(3) 市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
行政事務の効率化及び市民サービスの向上を図ります。	①職員による業務改善を推進します。	総務文書課	・業務改善件数 完了 57件 継続実施 17件	・全庁的に業務改善に取り組み、行政事務の効率化及び市民サービスの向上につながった。また、業務改善の更なる活性化を図るため、意見の提出方法の一部を簡素化した。

(4) 市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
男女共同参画社会の実現に努めます。	①附属機関等への女性委員の参加を促進します。	総務文書課	・女性委員の割合 31.6%	・各課等へのヒアリングにおいて選出母体となる団体への協力の依頼等を促し、女性委員の参加促進に努めた。

(6) 創造性豊かで、柔軟な発想と行動ができる職員を育てる市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
職員の意欲を高め、創造力を発揮しやすい環境づくりに努めます。	①ワーク・ライフ・バランスを推進し、働きやすい職場環境づくりを推進します。	人事課	・年次休暇の平均取得日数 令和6年度 15.9日 (令和5年度 16.1日)	・特定事業主行動計画を改定し、「やりがいを持って業務を行いながら、私生活を充実させることができる職場」を重点項目の一つとして掲げ、年次休暇等の取得促進と連続休暇の奨励について全職員に周知した。
	②不要な業務の廃止など効率的な働き方を推進することで、長時間労働を是正します。	人事課	・設定した時間外勤務の上限を超えない所属数の割合 令和6年度 84.9% (令和5年度 89.5%)	・各部署において特定の係や職員に負荷が集中しないよう業務分担を分散するなど、時間外勤務の平準化及び縮減を図り、長時間労働の是正に努めた。
繁忙期の事務負担の軽減を図り、有休の活用を推進します。	①庁内副業制度を活用し、繁忙期の事務負担の軽減を図ります。	税務課	・庁内副業制度に係る従事者 1人	・確定申告の受付業務に副業制度を活用することで、繁忙期における事務負担を軽減するとともに、職員の税務に関する知識の共有・向上を図った。

生活安全部 令和6年度組織重点目標（実績・成果）

（1）市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
防災体制の構築を進めます。	①地域の防災活動を支援し、地域防災体制の充実強化を図ります。	危機管理課	・地区自主防災訓練 23地区 70回 計13,004人 ・自主防災会の防災活動への補助金 23地区 計17,346,000円 ・自主防災推進会議の開催 2回	・自主防災会の防災訓練等の支援を行うことで、自主防災会の育成を図ることができた。 ・自主防災会へ補助金を交付し、資機材の配備等を支援することで防災力の強化を図ることができた。 ・自主防災推進会議の開催により、自主防災会同士の連携が深まり、市全体として地域防災力の強化を図ることができた。
	②消防団の防災活動を支援し、消防力の強化を図ります。	危機管理課	・消防団ポンプ自動車及び資器材等の適正な維持管理 ・愛知県消防操法大会の出場 ・消防団活動の広報	・消防団ポンプ自動車の更新に向けた検討を開始した。また、資器材等についても適正な維持管理ができ、消防力の強化を図ることができた。 ・愛知県消防操法大会では、出場した第4分団（熊地区）がポンプ車の部において、本市では初となる優勝という好結果を得た。 ・愛知教育大学の学生向けに消防団への勧誘チラシを配布するなど、消防団活動の啓発を図ることができた。
	③災害時に迅速に対応できる体制の整備を図ります。	危機管理課	・職員を対象とした情報伝達等訓練 2回 ・被災状況の情報収集、共有などICTの活用	・情報伝達班を対象とした情報伝達等訓練や、避難所配置職員を対象とした研修により、災害時対応の強化を図ることができた。 ・被災状況を可視化できる情報収集システム（スペクティ）や災害記録等を共有するシステム（キントーン）を導入することで、円滑な職員間の情報共有を行うことができた。
	④市民の防災意識の高揚を図るとともに、避難支援設備の整備や配備を図ります。	危機管理課	・防災講演会の開催 1回 ・総合防災訓練の開催 1回 ・避難所へのマンホールトイレの整備 ・かりがね小学校 4基 ・小高原小学校 4基 ・朝日小学校 4基 ・依佐美中学校 7基	・能登半島地震で取り上げられたトイレ問題を題材とした防災講演会の開催により、市民の防災意識の高揚を図ることができた。 ・総合防災訓練を開催し、参加団体の展示ブースでは被災時に必要な活動を体感できる機会を提供し、市民の防災意識の高揚を図った。 ・マンホールトイレの整備により、災害時のトイレ不足解消及び衛生的なトイレ環境を確保することができた。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
安心安全に暮らせるまちづくりを進めます。	①地域の犯罪及び交通事故抑止のため設備を整備します。	くらし安心課	・防犯灯の設置 33基 ・街頭防犯カメラ設置 26基 ・横断歩道照明の設置 10基	・防犯及び交通安全に関する設備を整備するとともに、安心安全なまちを推進するために、A I カメラ等による実証実験を行った。
	②防犯・交通安全意識の高揚に努めます。	くらし安心課	・警察と連携し、商業施設などで防犯及び交通安全に関する啓発活動を実施 ・交通安全教室の開催 144回 ・防犯用具購入費補助 762件 ・L I N E 等による情報発信 21回	・V Rを用いた新しい刈谷市オリジナルとなる交通安全啓発を行い、子どもから大人まで幅広く、交通安全意識を高めることができた。 ・防犯用具購入費補助制度の促進を図ることができた。 ・L I N E やあいかりを用いて情報発信を積極的に行うことにより、交通安全、防犯意識を高めることができた。
	③市民相談体制の充実	文化観光課	・専門相談について、市民だより（年12回）やホームページの掲載、予約受付時に案内することにより、オンラインや電話など対面以外の相談手段があることを周知した。	・相談者のニーズに応じた相談手段を確保することにより、利便性の向上を図ることができた。

(4)市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
市民と行政が連携協働した災害への備えを推進します。	①地域の自主防災組織等で活躍できる人材育成を進めます。	危機管理課	・災害ボランティアコーディネーター養成講座の開催 修了者 33人 ・防災リーダー養成講座 修了者 56人	・講座の実施により、地域で防災活動を行う人材の育成を図るとともに、新たな知識を習得する機会を創出することができた。

市民活動部 令和6年度組織重点目標（実績・成果）

（1）市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
窓口サービスを通じ、市民の満足度を高めます。	①市民が、より利用しやすい窓口サービスを提供します。	市民課	・窓口の混雑状況リアルタイム配信システムの導入	・窓口の待ち人数の可視化により市民サービスが向上した。
マイナンバーカードの取得を促進します。	①申請しやすい環境を創出します。 ②交付体制を充実します。	市民課 市民課	・出張申請受付の実施 高齢者施設 5回 企業 3回 個人宅 2回 ・外出困難者等への出張交付の実施 50人 ・土曜日等閉庁時における交付窓口の開設 土曜日等 15回 時間外 51回	・施設等の外出困難者や就業時間等で制約を受ける企業寮生などに対して、取得を促進できた。 ・高齢者等の自宅を訪問し、外出困難者の取得を促進した。 ・閉庁時におけるカードの受取り需要の高まりに応じて、交付窓口の回数を増設し、取得を促進した。

（3）市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
市民が安心してイベントに参加できる環境づくりを推進します。	①刈谷市観光協会等と連携し、安全に配慮したイベントの開催を推進します。 ②歴史文化、芸術等に関する施策を推進します。	文化観光課 文化観光課	・主要観光拠点の利用者数 9,592千人 ・水野家及び天誅組ゆかりの市町村との交流関係事業の実施 ・企画展の開催 歴史博物館 3回 美術館 2回	安全対策を施し、桜まつり、わんさか祭り、刈谷アニメコレクション等を開催することができた。 ・水野家ゆかりの市町村との交流事業を実施し、刈谷市の魅力を市内外にPRすることができた。 ・企画展始め各事業を実施した。 ※年間入館者数（企画展含） 歴史博物館 38,852人 郷土資料館 8,894人 美術館 81,263人

（4）市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
性別にかかわらず、誰もが参加できるまちづくりを推進します。	①男女共同参画社会を実現するためミライク刈谷を開催し、市民の男女共同参画に対する意識啓発を図ります。	市民協働課	・ミライク刈谷2024の実施 参加者数 トークショー 332人 映画祭 837人 各種講座 186人	・ミライク刈谷2024を実施し、参加者及び関係者の男女共同参画意識啓発を図ることができた。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
市民活動の活性化を支援します。	①業務の効率化及びデジタル化を行う自治会を支援することで、自治会の運営に係る負担軽減を図ります。	市民協働課	・自治会業務効率化支援事業補助金の交付 交付団体 9自治会（11件）	・LINE公式アカウント作成、事務員雇用、会計事務委託等により事務の効率化を図った自治会に対して、補助金交付による支援を行うことで、自治会役員の負担軽減につなげることができた。
	②顔の見える関係づくり及び活力ある地域づくりに取り組む自治会等を支援することで、市民活動の活性化を図ります。	市民協働課	・笑顔あふれる地域づくり補助金の交付 交付団体 15自治会（16件）	・夏祭り等既存事業において、自治会加入促進活動、多世代交流等を図った自治会に対し、補助金交付による支援を行うことで、地域の顔の見える関係づくり及び市民活動の活性化につなげることができた。
市民や関係団体と連携して、地方創生を推進します。	①文化財保護団体や文化芸術団体、教育機関等と連携しながら、各種施策を推進します。	文化観光課	・協働事業数 8事業	・各団体と連携を図り、市民が文化芸術に触れる機会を提供することができた。

福祉健康部 令和6年度組織重点目標（実績・成果）

（1）市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
障害者、高齢者が安心して暮らせる環境づくりを目指す。	① 障害者の生活を地域全体で支える地域生活支援拠点等の安定運営及び機能充実に向けた協議を行います。	福祉総務課	・ 検討部会の開催 3回	・ 一人暮らし体験利用制度の整備について検討を行い、令和7年度からの実施に向けて利用方法の調整を行った。
	② すぎな作業所を利用者や市民に親しみやすい障害福祉施設として整備します。	福祉総務課	・ 建替え工事の完了 ・ 環境負荷の軽減を図るため、建物の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備の導入を行い、エネルギー消費量を大幅に削減する建物（ZEB化）を実現	・ 各工程を着実に実施し令和6年度中に完成した。 ・ 定員拡大等による機能強化を図るとともに、建物の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備の導入により、エネルギー消費量を大幅に削減する建物（ZEB化）を実現した。 ・ 市民が気軽に訪れることができ、親しみやすい施設として、歩道に面した場所に販売・飲食コーナーを設けた。
	③ 住民主体の介護予防活動を支援します。	長寿課	・ 地域リハビリ活動支援事業利用団体 12団体 ・ 地域サロン活動等補助事業登録団体 114団体 ・ ちょこっとささえあい事業利用登録者数 53人 ・ ちょこっとささえあい事業サポーター数 144人 ・ いつでもつながる体操教室登録者数 761人	・ リハビリテーションの専門職を地域の集まりの場へ派遣し、継続的に運動ができる方法の指導を行った。 ・ 住民主体の介護予防活動を行うサロン活動の育成や支援をし、登録団体を増やすことができた。 ・ 高齢者のちょっとした困り事を地域のサポーターが解決する仕組みであるちょこっとささえあい事業を立ち上げた。 ・ 地域サロンやいきいきクラブ等の各種団体や福祉健康フェスティバル等のイベントで、いつでもつながる体操教室の周知、啓発を行い登録者数を増やすことができた。
	④ 認知症の人やその家族を支える環境づくりを推進します。	長寿課	・ 行方不明高齢者等SOSネットワーク登録者数 161人 ・ 認知症介護家族交流会延べ参加者数 2,053人 ・ 認知症サポーター養成講座延べ参加者数 13,345人	・ 事前登録により、警察や民生委員、関係機関と認知症高齢者の情報を共有することで、行方不明となった際の早期発見につながる体制を構築した。 ・ 認知症の人とその家族が早期から安定した生活ができるよう介護者を対象に講座を開催した。 ・ 認知症サポーター養成講座において、認知症に関する正しい知識を学ぶ機会を提供し、認知症の方が安心して暮らし続けることができる地域づくりにつなげることができた。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
生活困窮者の自立に向けての支援を行います。	①生活保護受給者に対し、自立支援を行います。	文化観光課	・支援者数 52人 ・就労者数 41人	・生活保護受給者に対し就労支援を行い、自立の促進を図ることができた。
	②生活困窮者の自立支援を行います。	生活福祉課	・就労支援による就職率 58%	・生活困窮者自立支援制度の就労支援等により、自立の促進を図ることができた。
市民が健康で元気に明るく生活できるよう、心と体の健康づくりを推進します。	①健康づくりの指針となる第3次健康日本21かりや計画を策定します。	健康推進課	・第3次健康日本21かりや計画の策定 ・関係部署との調整会議の開催 3回 ・第3次健康日本21かりや計画推進委員会の開催 3回	・健康に関する統計データや健康づくりに関するアンケート調査結果、現行計画の最終評価などをもとに、健康づくりの新たな指針となる第3次計画を策定することができた。 ・委員会及び部会を開催することにより、有意義な意見交換や課題共有などを行うことができた。
	②第2次自殺対策計画に基づき、総合的かつ効果的な自殺対策の取組を推進します。	健康推進課	・関係部署との推進会議の開催 1回 ・自殺対策計画推進委員会の開催 1回 ・子ども・若者向け講座の開催 4回 ・女性向けの講座の開催 1回 ・こころの健康講演会 1回 ・事業所向け出張型こころの健康講座の開催 15団体	・委員会及び部会を開催することにより、有意義な意見交換や課題共有などを行うことができた。 ・高校生や教諭を対象とした講座を新たに開催し、重点対象である、子ども・若者への取組を強化することができた。

(2) 次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
保険制度の適正な運営に努めます。	①介護人材の確保及び専門性の高い人材の育成を推進します。	長寿課	・介護に関する入門的研修の受講人数 20人 ・介護職員初任者研修の資格取得制度利用者数 8人 ・主任介護支援専門員研修の資格取得制度利用者数 6人	・これから介護職を目指す人や現在介護現場で働いている介護従事者に対して、研修費用を補助することで、介護人材の確保や育成につなげることができた。
	②ジェネリック医薬品の利用を推進します。	国保年金課	・ジェネリック医薬品利用率 79.6%	・ジェネリック医薬品への切替えにより一定の自己負担額軽減が見込まれる国民健康保険被保険者に対し、ジェネリック医薬品利用差額通知書を送付し啓発することにより、医療費の増加抑制につなげることができた。
	③レセプト等の点検を強化します。	国保年金課	・柔道整復等療養費支給申請書の点検を実施	・柔道整復等療養費支給申請書の内容点検を全件実施することで過誤請求を減らし、医療費の適正化を図ることができた。
	④後期高齢者医療保険料の収納率向上を図るため、高齢者に合わせたきめ細やかな対応をします。	国保年金課	・普通徴収の収納率 99.0%	・電話催告及び臨場訪問を実施し、高い収納率を維持することができた。

(4)市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
地域の課題解決のために、市民や企業、各種団体などの連携を支援します。	①刈谷市障害者自立支援協議会の開催により、障害者を支援するための施策を協議します。	福祉総務課	・協議会の開催 2回	・協議会を開催することにより、支援機関の連携向上など障害者施策の連携を図ることができた。
	②高齢者の見守り及び安否確認体制の充実を図ります。	長寿課	・協定締結事業者数 56事業者	・幅広い業態の事業者に協定締結を呼びかけ、高齢者見守り体制の拡充につなげることができた。
	③ICTを利用した、在宅医療・介護連携を推進します。	長寿課	・「えんjoyネット刈谷」患者登録者数 437人	・ICTを活用した情報共有システム「えんjoyネット刈谷」の利用促進を図ったことで、地域の医療・介護関係者間の情報共有を支援した。

次世代育成部 令和6年度組織重点目標（実績・成果）

(1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
関係機関と連携し子育て支援施策の充実を図ります。	①見守りが必要な児童の早期発見と適正な支援のため、要保護者対策地域協議会の会議を開催します。	子育て推進課	・実務者会議の開催 12回 ・必要に応じたケース検討会議の開催 10回	・関係機関の連携強化により、見守りが必要な児童の早期発見と適正な支援につなげることができた。
	②こども家庭センターの設置に向けた必要な準備を行います。	子育て推進課 子育て支援課	・組織体制等の整備 ・改正児童福祉法に基づくサポートプランの運用方法の確立 ・子育て世帯訪問支援事業の実施に向けた要綱等の整備	・センター設置に必要なとなる例規を整備できた。 ・子育て世帯訪問支援事業の実施に必要なとなる予算・要綱の整備のほか、実務上必要となる社会福祉協議会との調整を行うことができた。
	③こども計画策定に向けて、こどもの意見を聴取し、計画に反映する機会を創出します。	子育て推進課	・中学校での「刈谷市の授業」の実施 3校 ・市内高校の高校生を対象とする「Kodomo Mirai ワークショップ」の実施 1回 ・こども計画策定に係るこども向けパブリックコメントの実施 ・こどもの意見聴取スキームの活用に向けた庁内説明会の実施 1回	・中学生及び高校生に対し、職員が対面での授業を行い、グループワークを通じた双方向型の意見聴取を行うことができた。 ・計画のこども向け概要版を作成してこども向けパブリックコメントを実施した。 ・こども計画策定において実施したこどもの意見聴取のノウハウをいかして、次年度以降に活用できるスキームとして整理し、全庁に展開することができた。
子どもを安心して育てるための取り組みをすすめる。	①夢と学びの科学体験館において、子どもと保護者を対象にしたイベントの内容を充実させます。	子育て推進課	・ちびっこプラネタリウムの開催 28回 観覧者数 2,140人 ・クリスマスCDコンサート開催 8回 観覧者数 839人	・SNSやHPなどの広報を積極的に行い、ちびっこプラネタリウムの観覧者数を増やすことができた。 ・子ども向けのコンサートは、アンケートで「また是非やってほしい」という声が多数あった。
	②公式SNS等を活用し、夢と学びの科学体験館の各種イベントや情報をわかりやすく随時提供します。	子育て推進課	・公式SNS等のフォロワー数 Instagram 1,735人 X 572人	・Instagramでは、毎月のプログラムやイベントの掲載を継続して行った。 ・Xでは土日祝や長期休業中のプラネタリウム放映状況のリアルタイム更新を欠かさず行った。 ・各種公式SNSを積極的に活用したことでフォロワー数が増えた。
	③待機児童の解消に努めます。	子ども課	・保育需要が高い1歳児の定員拡大 ・将来の保育需要の分析及び必要な保育の提供体制の決定	・公立保育園4園において、各年齢の受入人数を調整し、保育需要が高い1歳児クラスの定員を計21人増やした。 ・こども計画策定の中で、保育需要を分析し、保育所の新設や乳児園化など必要な保育提供体制の構築を計画した。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
子どもを安心して育てるための取り組みが、保育者や保護者の負担を減らす。	④ 保育園等に通う発達に心配のある園児の自立に向けて、一人ひとりに適した支援を行います。	子ども課	・ 特別支援教育指導員（学校教育課職員）、保育カウンセラー（臨床心理士）、保育相談支援員（園長経験者2名）の巡回支援 ・ 認可保育園等36園を巡回 ・ 個別の支援が必要な園児への支援体制強化	・ 各専門員の助言により、保育指導の充実及び保護者の子育てに関する不安解消を図ることができた。 ・ 園児一人ひとりの特性に適した保育を提供する環境を整備することができた。
	⑤ ICTを活用した園運営を推進します。	子ども課	・ 子どもの見守りサポートや保育教諭の負担軽減に係るICT活用の検討	・ 子どもの見守りサポートや自律走行ロボによる自動写真撮影など保育教諭の負担軽減に係る実証実験を行い、ICT活用の効果、課題について検討した。 ・ 保護者連絡やアンケート調査等にICTの配信機能を活用することで、保育教諭の負担軽減を図った。
	⑥ 保護者の育児負担の軽減等を図るため、産後ケア事業を推進します。	子育て支援課	・ 産後ケア利用者 宿泊型 67人(延べ) 総利用日数 223日 日帰り型 45人(延べ) 総利用日数 53日 訪問型 433人(延べ) 総利用日数 483日	・ 保護者の身体的回復や心理的な安定及び適切な育児技術の習得のための支援を行うことにより、保護者の育児負担の軽減につながった。
	⑦ 児童発達支援センター（現しげはら園）の機能を拡充するため、移転・整備を行います。	子育て支援課	・ 実施設計の完了 ・ 支援体制の拡充	・ 導入設備の検討などを行い、実施設計を完了した。また、児童発達支援センターについて、受入れ時の療育環境の改善、保育所等訪問支援及び巡回相談支援の拡充に向けた人員体制等の検討を行った。
	⑧ 子育て支援サービスの利用促進に向けて取り組みます。	子育て支援課	・ 利用促進方法の検討 子育てサービス無料体験の実施 産後ケア（訪問型） 98件 産後ヘルパー 13件 ファミリーサポート 46件 病児・病後児 14件	・ プッシュ型通知によるPR、子育て支援活動に取り組む関係者からの情報展開など様々な方法での情報発信に取り組んだ。

(3)市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
先進的な取組を推進することとサービスの向上を目指します。	①放課後児童クラブに昼食の提供を行います。	子育て推進課	・昼食提供事業者の公募・選定2社応募あり、うち1社選定	・実地審査では、保護者や児童の採点に比重を置き、利用者の希望に沿った事業者を選定することができた。
子育て家庭が安心して生活できるよう支援します。	①子育て支援センターを始め、子育て世帯の身近な施設に子育てコンシェルジュを配置し、子育て世帯が多様な子育て支援事業の中から適切な事業を選択できるよう支援します。	子育て支援課	・子育てコンシェルジュの相談等対応件数 2,352件	・子育てコンシェルジュを身近な施設に配置することで、気軽に相談できる体制を整え、最適な子育て支援サービスの提供につながった。
	②行政手続のDX化を推進することで、登録者の拡大を図り、子育て世帯に向けた情報提供を充実させます。	子育て支援課	・母子手帳アプリ「はぴかり」登録者数 3,423人	・登録者に対し、妊娠期・産後の必要な時期にパパママクラスの勧奨、予防接種、産後ケアなど必要な情報を提供することができた。

(6)創造性豊かで、柔軟な発想と行動ができる職員を育てる市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
職員の確保・資質の向上を目指します。	①安全で快適な保育体制を維持するため、保育教諭等の人材確保に努めます。	子ども課	・就職セミナーへの参加及び養成校である大学への訪問回数7回 ・かりや保育人材バンクの設置	・セミナー参加者及び訪問大学の学生から8人を採用することができた。 ・かりや保育人材バンクの登録者は21名であり、人材確保に努めることができた。

産業環境部 令和6年度組織重点目標（実績・成果）

(1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
事業者ニーズを把握し、企業を支援する。	① 中小企業が持続的に成長するため、産業イノベーションを推進します。	商工業振興課	・ 人材育成、次世代育成プロジェクトの実施 C o D o もの T e c h 15人 NOWかりや 11人 未来創造たまご塾 55人 ・ コワーキングスペースの運営 利用人数 5,902人（延べ）	・ 刈谷市産業イノベーション構想に基づく各種プログラムを展開し、市内中小企業に参加を促したことで、協業や共創によるイノベーション創出の推進に向けた機運を醸成することができた。

(2) 次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
健全財政を維持するため、財源の確保に努めます。	① 産業の高度化、高付加価値化に向け、企業集積を高め、拠点性がある工業団地の早期整備に努めます。	企業立地推進室	・ 依佐美2期開発の推進 企業庁用地造成審査会開催 依頼 土地売買契約書のとりまとめ開始 企業用地需要の把握 74ha	・ 企業庁開発要件を整え、開発の決定をいただいた。 ・ 交渉により、90.2%の地権者から土地売買契約書をとりまとめた。 ・ 企業誘致活動により、分譲予定面積の19haを大きく超える用地需要を確認した。

(3) 市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
将来の市民ニーズを積極的に対応します。	① スマート農業機器の導入に対して補助を行い、農作業の自動化や省力化を図ります。 ② 有機質肥料等を使用した水稻の栽培実証実験を行い、有機農業への関心を高めます。	農政課	・ スマート農業機器補助件数 4件 ・ 実証実験で収穫した米を活用し有機農業をPR	・ 農薬散布用ドローンなどのスマート農業機器を導入した者に導入費用の一部を補助し、農作業の省力化が図られた。 ・ 農業まつりで実証実験のパネル展示をするとともに、アンケート協力者に有機栽培の米を配布して、有機農業への関心を高めた。 ・ 農業委員会や農事連絡員会議で実証実験の結果を情報提供し、有機農業への気運を高めた。
生活環境が良かれ、環境に負けない持続可能なまちづくりを推進します。	① 環境配慮と暮らし・経済活動が協調し、人と自然が調和するまちの実現を目的とした「環境基本計画」の改定に向けた取組を推進します。 ② SDGsに掲げる持続可能で近代的なエネルギーの確保、地産地消による地域振興及び脱炭素化を図る取組を推進します。	環境推進課	・ 第3次環境基本計画素案の作成 ・ 環境審議会の開催 3回 ・ パブリックコメントの実施 ・ 第3次環境基本計画の策定 ・ 「かりやカーボンニュートラルバンク」及び「くらしカーボンニュートラルクラブ」への登録者 30人	・ 環境審議会の意見を聴取しながら、パブリックコメントを実施し、第3次環境基本計画を策定した。 ・ 各制度への登録を促進することにより、家庭のCO ₂ 削減量を環境価値化できるようにし、ゼロカーボンシティ達成への取組を図った。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
3 R を推進します。	①プラスチックごみの再商品化を推進します。	ごみ減量推進課	・プラスチックの再商品化に対応するための分別基準の作成	・再商品化の処理工程を調査し、プラスチック使用製品の分別基準を整理した。

建設部 令和6年度組織重点目標（実績・成果）

（1）市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
安心・安全で快適な生活空間を推進します。	①歩行者が安心して通行できる歩行空間を整備します。	道路建設課	・市道の歩道設置、改良 2路線	・歩行者が安心して通行できる歩行空間の整備を推進することができた。
	②渋滞解消のための道路整備を推進します。	道路建設課	・市道の新設改良 2路線	・渋滞解消するための道路整備を推進することができた。
	③健全な道路の維持・保全に努めます。	土木管理課	・道路維持管理支援システムの車載器設置車両数 3台	・道路維持管理支援システムにより効率的に道路陥没等を発見し、現場対応をすることができた。
	④事業推進に向け、不動産の取得、処分、貸借及び交換に努めます。	用地対策課	・不動産評価審議会への諮問 4回	・審議会を通じて、適正な価格を決定し、事業用地の取得等、事業を推進することができた。
災害に強いまちづくりを推進します。	①大規模地震が発生した時に、避難路及び物資の輸送ルートを確認します。	道路建設課	・橋りょうの耐震補強対策 6橋	・避難路にかかる橋りょうの耐震化を行い、安全性を高めることができた。
	②住宅等の地震対策の啓発を行い、耐震改修を促進します。	建築課	・木造住宅等耐震改修補助件数 63件 ・ブロック塀撤去補助件数 29件 ・耐震啓発ローラー作戦等の実施 4回 ・防災まちづくり協議会へ耐震改修等補助制度について啓発を実施 1回 ・総合防災訓練などでの耐震改修工法の紹介 4回 ・出前講座の実施 2回	・イベントへの出展や出前講座、地区団体と連携したローラー作戦等の耐震啓発活動を実施し、木造住宅耐震改修及び取壊し、ブロック塀撤去補助等の申請につなげることができた。

（2）次代を支える健全財政を維持した文化観光課

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
健全財政を維持するため、多角的な財源確保に努め、計画的に事業を推進します。	①国庫補助・県費補助を積極的に活用します。	土木管理課 道路建設課 建築課	・補助事業活用件数 17件	・国庫補助・県費補助を活用し、財源負担の軽減を図りつつ各種事業を実施することができた。
	②橋りょう長寿命化計画に基づいた維持保全を図ります。	土木管理課	・橋りょう点検 44橋 ・橋りょう補修 6橋	・長寿命化計画に基づき、平準化を図りながら必要となる橋りょうの点検と補修を実施することができた。

(3)市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
将来に向けた刈谷市の交通環境の整備を図ります。	①国及び県に対する要望活動を行い、名古屋三河道路等の幹線道路の整備を促進します。	道路建設課	・要望会の実施 10回	・国及び県に対する要望活動を行うことで幹線道路の整備促進及び実現に向けた取組の推進に寄与することができた。

(4)市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
ボランティア制度の確立を図ります。	①各自治会と連携し、地区清掃を実施します。 ②地区防災会等との連携や市民の集まる機会をいかし、無料耐震診断、耐震改修の実施の啓発を行います。	土木管理課 建築課	・側溝清掃の実施地区 22地区 ・地区団体等との連携による耐震啓発の実施 4回	・各自治会と連携し、22地区で地区清掃を実施することができた。 ・地区団体と連携を図った耐震啓発活動を行い、木造住宅無料耐震診断の申請につなげることができた。

都市政策部 令和6年度組織重点目標（実績・成果）

（1）市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
安全安心で快適な生活空間を推進します。	①土地区画整理事業を推進し、良好な住環境を整備します。	市街地整備課	・小垣江駅東部 物件移転交渉 1件 ・野田北部 物件移転 1件	・合意形成に向けて交渉を重ねた。野田北部においては物件移転が完了した。
民間活力の導入により、市民サービスの向上に努めます。	①指定管理者制度を活用し、刈谷駅北地区地域交流施設をいかしたイベントを開催します。	まちづくり推進課	・イベントの実施回数 22回	・自主事業等のイベントを定期的に開催することで、刈谷駅周辺のまちのにぎわい創出と地域の連携及び交流の促進に寄与することができた。

（2）次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
多角的な財源確保に努め、計画的に事業を推進します。	①「かりまる」への広告の掲載や、バス車内のサイネージ等による広告収入を確保します。 ②社会資本整備総合交付金等の活用を努めます。	都市交通課 文化観光課	・広告掲載件数 97件 ・交付金等活用件数 6件	・継続的な広告収入を確保することで歳出抑制を図りつつ、「かりまる」を運行することができた。 ・交付金を活用し、財源負担の軽減を図りつつ各種事業を実施することができた。

（3）市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
やすらぎと潤いのある良好な住環境を整備し、持続可能なまちづくりを推進します。	①市内への定住の促進と活発な産業活動を支えるため、新市街地の創出に取り組みます。 ②刈谷駅周辺における民間再開発の促進とともに、一体的な市街地整備の推進を図ります。	市街地整備課 まちづくり推進課 市街地整備課	・関係機関との調整等 1回 小垣江北部地区（住居系） ・依佐美地区（産業系） 地区計画の素案作成、説明会の実施、法16条縦覧 ・民間活力の活用地区数 1地区 ・民間活力の活用検討地区数 2地区	・自治会の意見を伺い、地区の現状を確認することができた。 ・令和7年度の都市計画決定に向け、計画どおり法手続を進め、事業進捗を図ることができた。 ・優良建築物等整備事業により、基盤整備と一体的な民間再開発を支援し、良好な住環境の整備を推進した。 ・開発機運が高まる街区において、開発手法を検討し、民間再開発の事業化を促進した。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
やすらぎと潤いのある良好な住環境を整備し、持続可能なまちづくりを推進します。	③刈谷市駅周辺における民間再開発の促進とともに、一体的な市街地整備の推進を図ります。	市街地整備課	・民間活力の活用地区数 1地区 ・民間活力の活用検討地区数 1地区	・優良建築物等整備事業により、基盤整備と一体的な民間再開発を支援し、良好な住環境の整備を推進した。 ・地元まちづくり組織などと各種調整を図り、民間再開発の事業化を促進した。
	④社会情勢等の変化に伴う様々な課題に対応するため、立地適正化計画の見直しを行います。	都市交通課 まちづくり推進課	・都市計画道路中町線及び半城土広小路線に関する都市計画道路の変更 ・立地適正化計画の改定・公表 策定委員会の開催 2回 関係部署との調整会議の開催 2回	・都市計画道路の変更ができた。 ・居住や都市機能の適正な誘導と公共交通の充実を図ることで持続可能なまちづくりを推進することができた。
	⑤刈谷駅周辺における公共空間の活用に取り組みます。	まちづくり推進課	・官民連携による公共空間の活用に向けた関係団体等との調整 22回 ・公共空間を活用したイベントの実施 28回	・関係団体と情報共有を行うことで、官民連携のまちづくり活動を促進することができた。 ・公共空間を積極的に活用することで、刈谷駅周辺のにぎわいを創出することができた。
市民の暮らしを支え、暮らしを高める環境を推進します。	①本市が目指す将来都市像の実現に向けた総合交通体系の展開を図ります。	都市交通課	・総合交通体系に関する協議 都市交通協議会の開催 6回	・都市交通戦略の進捗について報告するとともに、同計画の改定、「かりまる」の再編等について幅広い視点から意見をいただき、検討を進めることができた。
	②J R 刈谷駅の安全性確保、利便性の向上を図ります。	都市交通課	・J R 刈谷駅改良に対する J R 東海への補助	・下り線ホームのエスカレーター新設や橋上駅舎の新築工事、上り線のホームドア基礎工事を行い、事業の進捗を図ることができた。
	③市民の移動の利便性向上のため、「かりまる」を含めた公共交通体系の見直しを検討します。	都市交通課	・「かりまる」再編の検討 公共交通に関する意見交換会 6回 ・デマンド交通実証実験の利用者数 383人／月（最大利用月）	・「かりまる」再編の検討を進めることができた。 ・デマンド交通の実証実験を継続することで認知度が上がり、地域の交通として利用を促進することができた。
	④「かりまる」のバス待ち環境改善に向けた調査を実施します。	都市交通課	・バス停の待合環境整備調査 106か所（189停留所）	・バス停台帳を更新し、待合環境向上に向けた整備計画を作成することができた。
	⑤市民の外出機会の創出及び「かりまる」の利用促進を図るため、イベントや啓発を実施します。	都市交通課	・アプリを活用した利用促進イベントの実施 4回 ・イベントにおける啓発ブースの出展 2回	・民間事業者と連携したイベントを開催することで、市民の公共交通へ触れる機会を創出し、利用促進を図ることができた。

(4)市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
まちづくり施策の推進において、住民意思の反映機会を拡充します。	①地域住民や事業者等が参加できるワークショップ等を開催します。	まちづくり推進課	・ワークショップ等の活動回数 28回	・まちづくりの担い手の発掘や育成、地域主体のまちづくり活動を促進することができた。
	②「かりまる」「チョイソコかりや」などの公共交通の利便性向上のため、市民参加による路線の見直しの検討などを行います。	都市交通課	・公共交通に関する意見交換会の実施 6回 ・デマンド交通実証実験に係る地区との意見交換 8回	・公共交通に関する意見交換会を各中学校区で実施し、市民やバス利用者等の意見を把握し、バス路線再編を検討した。 ・デマンド交通の停留所設置や利用促進について、地域と意見交換を重ねて運行に反映した。

都市公園部 令和6年度組織重点目標（実績・成果）

（1）市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
民間活力の導入により、市民サービスの向上に努めます	①指定管理者制度の活用に加え、公園使用に関する規制を緩和し、民間事業者によるイベント開催等を促進します。	公園緑地課	・指定管理者主催のイベント開催回数 41回 ・民間事業者主催のイベント開催回数 16回	・公園施設における民間のアイデアをいかしたイベントや教室を開催することで、市民の満足度を高めるサービスの提供を行った。

（2）次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
多角的な財源確保に努め、計画に事業を進めます。	①社会資本整備総合交付金等の活用	公園緑地課 公園整備課	・交付金等活用件数 2件	・交付金等を活用し、計画的に都市公園施設の整備、更新を実施できた。
	②公園施設長寿命化計画に基づき、施設の更新・修繕を計画的に行います。	公園緑地課	・施設更新をした公園数 7公園 ・施設修繕をした公園数 47公園	・公園の安全性、美観性が向上し、市民の憩いの場として、安心・安全で快適な都市公園を提供することができた。

（3）市民から期待される先進的な市役所づくり 文化観光課

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
やさしい環境を整え、持続可能なまちづくりを推進します。	①トイレの洋式化や老朽化したベンチの取替えを行い、安全快適な公園をつくりま	公園緑地課	・トイレ改修箇所数 7か所 ・ベンチ更新基数 69基	・公園の安全性、利便性が向上し、市民の憩いの場として、安心・安全で快適な都市公園を提供することができた。
	②本市の魅力を発信する5つの公園を対象とした魅力あふれる公園づくり構想の実現を目指し、事業化に向けた取組を推進します。	公園整備課	・推進委員会の開催 1回 ・構想関連イベント等を実施した公園数 4公園	・学識者などで構成する推進委員会を開催し、多様な意見を取り入れながらロードマップを策定し、公表することができた。 ・構想関連イベント等を実施し、公園の利活用イメージを体験してもらい、利用者ニーズや運営上の課題等を把握することができた。
	③身近な公園の整備を推進します。	公園整備課	・街区公園の新規整備 1公園 ・都市計画公園の変更 3公園	・地域住民の意見を反映した整備を行うことができた。 ・都市機能の集約・再編にあわせ、都市計画の計画変更を行うことができた。
	④近隣公園にウォーキングコース等を設置し、市民の健康的な生活を確保します。	公園整備課	・基本設計を行った公園数 1公園	・市民の健康増進の場等の創出に向けた整備方針をまとめることができた。

(4)市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
市民や地区と連携し、市内の緑化を推進します。	①緑の募金を活用し、地区が自主的に行う地域の緑化活動を支援します。 ②緑化意識の醸成を図るため、庭づくり等緑化につながる教室を開催します。	公園緑地課	・実施地区数 20地区 ・教室の開催 4回	・集めた募金を地区が自ら緑化を希望する場所に活用することで、緑化意識の醸成とともに市内全体の緑化につながった。 ・教室を開催することで、自然や緑を愛する住民を増やし、緑化に対して興味関心を高めることができた。

水資源部 令和6年度組織重点目標（実績・成果）

（1）市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
災害への備え及び災害発生時の対応力を向上を図ります。	①水道施設の耐震化を進めます。	水道課	・重要給水施設（47施設）への管路耐震化 2か所 ・配水池の耐震化 2か所	・重要給水施設管路及び配水池の耐震化を推進し、災害時への備えを強化することができた。
	②災害発生時における飲料水供給に備えます。	水道課	・施設管理委託業者と合同訓練の実施 3回 ・給水車や緊急時に使用する資機材の操作訓練の実施 4回	・機械や設備の操作訓練を合同で実施し、災害時における適切な対応を再確認することができた。 ・水道組合と合同で資機材の操作訓練を実施し、手順を再確認することができた。
	③災害に備えて下水道施設の耐震化及び早期復旧への対応力向上を図ります。	下水道課	・マンホール目地ずれ抑制工 106基 ・バキューム車や緊急時に使用する資機材の操作訓練 1回 ・緊急調査訓練の実施 1回	・重要な幹線等における下水道施設の耐震化を推進し、災害への備えを強化することができた。 ・訓練を実施することで、非常時の対応能力を向上させることができた。
	④浸水被害の軽減を図るため、草野川調整池及び雨水排水施設を整備・改修します。	雨水対策課	・調整池の護岸整備 120m ・雨水ポンプ場の設備更新 7か所	・調整池と草野池の仕切堤防の護岸工事を行った。 ・雨水排水設備において計画的に更新等を行い、排水ポンプ等の適切な維持管理に努めた。
	⑤災害に強いまちづくりを推進するため、雨水貯留浸透施設設置補助事業の利用の促進を図ります。	雨水対策課	・雨水貯留浸透施設設置補助件数 12件	・治水の安全度の向上、災害に強いまちづくりを推進するため、雨水の流出量を減らす雨水貯留施設の利用が促進された。
安心・安全で快適な生活空間を推進します。	①地域の実情に合わせて効率的に污水管を整備し、公共用水域の水質改善や保全を図ります。	下水道課	・污水管整備 0.4km	・下水道（污水）の整備により、下水道を使用できる区域が増加したことで、下水道を使用できる環境を整えることができた。
	②小中学生を対象とした下水道ポスターの募集と入賞作品の展示を通じて普及啓発を行います。	文化観光課	・ポスターコンクール実施 1回 応募者数 374人 ・入賞作品の展示 6会場	・ポスターを描いたり見たりしてもらうことで、下水道の役割を考える機会を提供できた。
	③市民の集まる機会をいかし、水道水の安全性や下水道の重要性、総合治水対策の啓発を行います。	水道課 下水道課 雨水対策課	・市民に対する啓発活動 8回	・わんさか祭りや出前講座で多くの市民に対して、上下水道事業及び治水対策等について啓発を行うことで、市民意識を向上させることができた。
	④公共下水道事業への理解を深めるとともに接続を促すため、個別訪問などを実施します。	下水道課	・個別訪問などの実施 37件	・下水道の仕組みや役割について個々に説明をすることで、下水道接続の促進に寄与できた。

(2) 次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
公収や補助金・料金の向上に努め、積極的な財源確保を図ります。	①民間事業者による業務運営により、滞納者に対する戸別訪問などを実施することで収納率の向上に努めます。	水道課	・滞納繰越分収納率 99.3%	・滞納者を早期に把握し、速やかに対応することで目標値を達成することができた。
	②関連機関と協議し、補助制度を活用することにより安定的な事業運営を図ります。	水道課 下水道課 雨水対策課	・補助活用件数 13件	・補助制度を活用し、水道施設の耐震化や、河川施設及び下水道施設の長寿命化などの事業を推進できた。
将来にわたっての適正な水道管理と、サービスの向上を図ります。	①ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した污水管や雨水ポンプ場の改修を進め、下水道施設の延命化を図ります。	下水道課 雨水対策課	・管渠改修延長 1.2km ・人孔蓋改修数 152か所 ・雨水ポンプ場の設備更新 2か所	・計画に基づき、工事発注を行い、長寿命化を進めることができた。
	②水道事業ビジョン及び経営戦略に基づき安定した水道水を供給するため、施設の老朽化対策を図ります。	水道課	・老朽管対策延長 0.7km	・漏水発生路線の布設替えを行うことで、水道水の安定供給に寄与することができた。
	③上下水道事業のビジョン及び経営戦略に基づき、経営の健全化や効率的な事業運営に努めます。	水道課 下水道課	・経営戦略の検証 ・刈谷市水道事業及び下水道事業審議会の開催 4回	・審議会に対し今後の事業経営のあり方について諮問し、審議において出された意見を踏まえ経営戦略を改定した。また、審議会での説明を丁寧に行い、議論を円滑に進めることができた。

(6) 創造性豊かで、柔軟な発想と行動ができる職員を育てる市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
知識の向上と新たな技術・手法を積極的に活用できる経営感覚ある職員を育成します。	①国・県等が実施する研修会等に積極的に参加し、資質の向上を図ります。	水道課 下水道課 雨水対策課	・研修参加人数 140人	・Web研修についても積極的に参加し、今後の効果的かつ効率的な事業の推進に必要な知識と技能を習得することができた。

教育部 令和6年度組織重点目標（実績・成果）

（1）市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
より安心して学校生活を過ごせるよう児童生徒の教育環境の充実を図ります。	① 学校施設や設備の整備、改修等を計画的に進めます。	教育総務課	・ 小中学校体育館トイレ改修工事の実施 進捗率50% ・ 住吉小学校擁壁改修工事の完了 ・ 雁が音中学校南舎大規模改造工事の完了	・ 予定どおり工事を完了し、教育環境の向上及び避難所機能の強化を図ることができた。実施中の工事についても予定どおり計画的に進めることができた。
子どもの夢や目標等を育む取組を推進します。	① 児童生徒へ多様な体験機会を提供します。 ② ホームタウンパートナーチームと連携した活動を実施します。	学校教育課 スポーツ課	・ 各小学校における理科教員経験者による科学実験教室の実施 全小学校の5年生全クラス ・ 親子スポーツ教室の開催 5回 ・ 刈谷キラキラ教室の開催 17回	・ 元校長など理科教員経験者による問題解決的な指導を行い、科学的な見方、考え方を身に付けることができた。 ・ パートナーチームとの協働により、するスポーツとみるスポーツの魅力を親子で体験する機会や、全国や世界で活躍する選手やチームと触れ合う機会を提供することができた。
子どもや若者が安心して過ごせる環境の充実を図ります。	① 子ども・若者総合相談窓口の相談体制を充実します。	生涯学習課	・ 子ども・若者総合相談窓口の実施日 週6日	・ 相談日を拡充したことにより、相談希望者を待たせることなく、より相談しやすい体制とすることができた。

（2）次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
健全財政の堅持と行政運営の透明性に努めます。	① 施設使用料の適正化を図ります。	生涯学習課 スポーツ課	・ 適正な生涯学習施設使用料及びスポーツ施設使用料の検討	・ 施設使用料の改定により、適正な利用者負担を図ることができた。

（3）市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
I C Tを活用した教育環境の充実を図ります。	① I C Tの利活用を推進します。	学校教育課 生涯学習課	・ 社会科補助教材「わたしたちのかりや」（デジタル版）の効果的な活用のため、資料の追加・修正を行った。 ・ 電子図書館学校連携開始	・ 資料の拡大機能や、動画を使った学習をすることで、子どもたちの興味・関心を高めるとともに学習内容の理解を深めることができた。 ・ 市内小中学校・特別支援学校の全児童生徒に電子図書館のI Dを付与し、学校タブレットから電子図書館を利用できる環境を整備することができた。

(4) 市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
市民、地域、様々な団体等との協働による取組を推進します。	① 城町図書館の跡地活用について、市民の意見を取り入れた施設を検討します。	生涯学習課	・ 地域住民をはじめとする市民が参加するワークショップを開催 2回	・ 地域住民や学生などの意見を取り入れた基本設計を行うことができた。
アジア・アジアパラ競技大会開催に向けた取組を推進します。	① アジア・アジアパラ競技大会の開催準備を計画的に進めます。	スポーツ課	・ 庁内副業制度を活用し、機運醸成策や市民参加イベント等を検討 ・ アジア・アジアパラ競技大会に向けて大会実行委員会を組織	・ 庁内副業制度の活用により、参加職員の所属の強みをいかしながら、大会実行委員会への参画を予定している教育、国際交流、福祉など、様々な分野の団体と意見交換し、アジア・アジアパラ競技大会の推進に向けて機運醸成に係る取組を検討することができた。